

感性指向の製品開発 -ユーザ嗜好のトリセツ-

開催期日：平成29年8月28日(月)

申込締切：平成29年8月21日(月)

心地良い音、使って楽しい道具、ワクワクする乗り物はどこが他と違うのでしょうか。十人十色のユーザの感性・嗜好に対応した製品の設計の際に有効な定石はあるのでしょうか。

すでに個人をターゲットとした製品では、多品種少量から変種変量やカスタムメイドが指向されるようになり、同じ機能・効率を持つ製品でも形状や使用感の僅かな違いによって、人気や売り上げに大きな差が出ます。このような製品では、十分な事前調査に加えてそれぞれの目的に応じてユーザの音感、触感、食感、美的感覚などの感性・感覚に高いレベルで訴えることも重要です。どのようにしたら、そのような製品の設計が可能となるのでしょうか。それを実現するための方法論は存在するのでしょうか。本講習会では、ユーザの感性・感覚が影響する製品の実際の設計について第一線で活躍されている専門家から、皆様の今後の設計に新しい視点を加えるためのヒントを得ていただく事を目的に企画しました。

日 時：平成29年8月28日(月)9時55分～17時15分

会 場：東京理科大学・神楽坂校舎1号館17階大会議室(〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3)

* JR総武線、東京メトロ有楽町線・東西線・南北線、都営大江戸線『飯田橋駅』から徒歩5分

* 会場 URL：<http://www.sut.ac.jp/info/access/kagcamp.html>

司 会：田中智久(東京工業大学)、吉田一朗(法政大学)、金子新(首都大学東京)

次 第：(予 定)

時間	題 目	内 容	講 師
9:55～10:00		挨拶	
10:00～11:00	エモーショナルデザインの実践	エモーショナルデザインは、人の感情に訴えかける魅力的なデザインを行うこと。製品のどこに魅力を感じるのかを、感性工学手法を用いて分析し、その結果を活用してデザインを行った事例を紹介する。	芝浦工業大学 デザイン工学部 デザイン工学科 教授 橋田 規子
11:00～12:00	感覚をインタラクティブに呈示できる視触覚ディスプレイの開発とその応用	本講演では、視覚と触覚をインタラクティブに呈示する技術と表現に注目し、感覚をインタラクティブに呈示できる視触覚ディスプレイの開発とそれを利用したメディア表現やデザイン、産業への応用について紹介する。	首都大学東京 システムデザイン研究科 インダストリアルアート学域 教授 串山 久美子
12:00～13:00		昼 食	
13:00～14:00	HRI(Human-Robot Interaction)におけるインタラクションデザイン	人からの手助けを上手に引き出しながら、ゴミを拾い集めてしまうゴミ箱ロボットなど、〈弱いロボット〉に関する研究事例を中心に、ソーシャルなロボットと人とのコミュニケーションやインタラクションデザインについて紹介する。	豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田 美智男
14:00～15:00	パンティストッキングの美脚演出機能を設計する	パンティストッキング(PS)は、着装することでより美しい脚部を演出できる機能が求められる繊維製品である。PS 着装脚部の美しさを計測・評価する方法や PS の設計要素との関係についてわかってきたことを紹介する。	金沢大学 理工研究域 機械工学系 助教 若子 倫菜
15:00～15:15		休 憩	
15:15～16:15	Engineer's Design & Designer's Styling	エンジニアとデザイナーそれぞれにとっての「デザイン」の概念は異なる。1 人の人間の中に両方の要素を併せ持つことによって担えるデザインエンジニアの役割と、デザイナーによって感性的にコントロールされる意匠という要素を解説する。	Takram 谷口 靖太郎
16:15～17:15	変化するインハウスデザインの最新動向	近年、技術の飛躍的な進歩で、市場は多様化、複雑化している。それに伴い企業におけるデザインの定義・領域も大きく拡大・変化している。本講演では、最近の企業におけるデザインの事例を中心に、変化しているインハウスデザインについて紹介する。	株式会社東芝 デザインセンター センター長 湯嶋 彰
17:15～18:30		名刺交換会 交流会(参加費無料)	

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第3グループ

協賛(予定)：SME 日本支部/応用物理学会/大田区産業振興協会/型技術協会/計測自動制御学会/研究産業・産業技術振興協会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/産業技術総合研究所/失敗学会/自動車技術会/首都圏産業活性化協会/全日本プラスチック製品工業連合会/素材材センター/ダイヤモンド工業協会/TAMA-TLO/電気加工学会/電気学会/砥粒加工学会/日本液晶学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本感性工学会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本精密測定機器工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/日本デザイン学会/日本ロボット学会/プラスチック成形加工学会

★協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。 ★賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

定 員：60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参 加 費：会 員(賛助会員および協賛団体会員を含む)22,000円、非会員32,000円【会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む】

学生会員 無 料(講習会テキストは別途、ただし開催日当日は参加の学生会員に限り2,000円で購入可)

学生非会員 7,000円

*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。

資 料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,000円

申込方法：ホームページ(https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html)からお申込み下さい。

申 込 先：公益社団法人 精密工学会(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、Fax03-5226-5192)